

川西町下水道事業経営戦略【概要】 (平成31年度～平成40年度)

第1章 経営戦略策定の趣旨

- ① 下水道事業を取り巻く経営環境は施設等の老朽化に伴う更新施設の増大、人口減少に伴う使用料収入の減少等により厳しさを増しつつあり、転換期を迎えております。
- ② 平成26年8月には、総務省より中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、効率化、経営健全化を行うため「経営戦略」の策定をするよう通知されました。

①②より川西町においても、厳しさを増す下水道事業の経営環境に適切に対応し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むため、「経営戦略」を策定するものです。

第2章 下水道事業の現状と課題

- ① 下水道普及率 99.7% 水洗化率 97.3%
- ② 川西町の下水道施設は1972年から設置を開始しており、古いもので50年近く経過しています。
- ③ 将来の予測と課題では人口減少が予想され、下水道使用料の減少が課題となります。
- ④ 新たな変化要因として、唐院工業団地の拡張整備による下水道処理区域の拡大が予定されています。

①については高い水準にあり水洗化が進んでいます。
②については全体の約37%にあたる管渠が施行後30年以上を経過し、管渠の劣化やそれに伴う陥没事故の発生等が懸念されています。
これらの課題に対応し、適切な維持管理・災害対策を行うため、「ストックマネジメント基本計画」を策定しました。
③④について、厳しい状況と言えますが、人口減少等による使用料収入の減少に備え、経営戦略を策定・実行し、経営改善を行っていかねばなりません。また下水道処理区域の拡大による使用料収入の増加などにも取り組み、安定的な運営を目指していきます。

第3章 経営の基本方針

- ① 経営理念
- ② 基本方針
- ③ 将来目標

①として公共用水域の水質保全を図り、町民の快適で衛生的な生活環境を維持していくことを目指します。
②③として、安全・安心で、持続的な下水道サービスを供給する為、経営基盤の強化・水環境の保全・下水道資産の適正管理を目標とし尽力していきます。

第4章 投資・財政計画（収支計画）

- ① 投資について
- ② 財源について
- ③ 投資以外の経費について

①についてはストックマネジメント基本計画に基づいた更新費用を計上しています。
②については下水道利用料の算定は川西町独自の人口推計により算定しており、工場排水は現状維持としています。また平成31年度消費税率10%引き上げに伴い、31年度半期分及び32年度以降については、増額分を見込んでいます。
③については近年の数値からできる限り効率化できたものとした数値を計上しています。

第5章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

○経営戦略の進捗管理は、毎年検証するとともに、5年以内に見直しを行います。
○見直しの際には、実績との乖離及びその原因を分析し、「計画策定（PLAN）－実施（DO）－検証（CHECK）－見直し（ACTION）」のサイクルを活用します。
○下水道事業は公営事業ですので、これらの情報を公開して、事業の透明性を確保していきます。